

平成27年5月12日
国土交通省住宅局

第3回国連世界防災会議（3rd UN World Conference on Disaster Risk Reduction、平成27年3月14日～18日、仙台）における
建築基準に係るセッションの開催について（結果報告）

第3回国連世界防災会議は国連に加盟する世界193カ国・地域から首脳級・閣僚級の代表が参加し、今後15～20年の国際的な防災戦略等が策定される会議で、平成27年3月14日（土）から18日（水）まで仙台で開催されました。

住宅局も17日（火）の本体会議ワーキングセッション「建築基準を含む、災害リスク削減のための各種基準」に、下記のように杉藤審議官が出席し各国や国際機関の参加者と建築物の安全安心や日本の経験・貢献についてディスカッションを行いました。また、別途パネル展示でも災害時の活動などを紹介しました。

1. ワーキングセッション名：「建築基準を含む、災害リスク削減のための各種基準
（Standards for Disaster Risk Reduction Including Building Codes）」
2. 日時：平成27年3月17日（火）14:00～15:30
3. 場所：仙台国際センター 萩ホール
4. 参加者数：約200名
5. 主な登壇者
【モデレータ】
ゲーリー・ドゥ・ラ・ポメライ（建築基準グローバル・タスク・フォース） ほか
【パネリスト・スピーカー】
杉藤崇（国土交通省住宅局審議官）
チンリ・ハン（ユネスコ）
エデ・リャス・ヴァスケス（世界銀行）
ディキシ・アマッド・モニ（ネパール国立地震技術協会）
ルイス・A・グリッツォ（FMグローバル） ほか

6. 結論（要点）

- 建築基準によるリスク管理のセッションでは以下の必要性を明確にした。
 - －単なる基準から、既存建築物の改修や維持管理も含み、スタンダードやガイダンスといった広範な手段も活用して、より広い主体の参画を呼びかけること
 - －品質保証や規則遵守の制度化を目指して、規制能力や効果を支える透明性のある総合的なデータのリストを作成すること。
 - －多数の主体の協力を得て以下の約束事を始めるために、建築基準グローバルタスクフォースの対象を広げること
 - ① 建築物に関する既存の成功基準（事例）や規則遵守の戦略を明らかにするために各主体が協力してグローバルなマッピング活動を開始すること
 - ② 規則遵守の戦略をモニタリングするための指標をつくとともにギャップを明らかにし、共有すべき成功基準の策定、支援を行うこと

- 全体会議では、最終日に今後の指針として仙台防災枠組 2015-2030 を採択し、参加各国・国際機関等の決意を仙台宣言として発表しました。

- 仙台防災枠組には、優先行動の一つとして強靱化に向けた防災への投資が位置づけられ、建築基準の策定、改善も重要な項目として盛り込まれました。



パネルディスカッション光景
(白い上衣がモデレーターのゲーリー氏)



住宅局杉藤審議官

問い合わせ先

国土交通省 住宅局 建築指導課 建築国際関係分析官 亀村
代表 03-5253-8111 (内線 39-502)
直通 03-5253-8513 FAX03-5253-1630